



## Catalyst 3750-E および 3560-E show platform コマンド

---

ここでは、Catalyst 3750-E および 3560-E スイッチに合わせて作成または変更された **show platform** 特権 EXEC コマンドについて説明します。これらのコマンドは、インターネットワーキングの問題の診断および解決に役立つ情報を示します。使用する場合には、必ずシスコのテクニカル サポート 担当者の指示に従ってください。

# show platform acl

プラットフォーム依存型 Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) マネージャ情報を表示するには、**show platform acl** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform acl {interface interface-id | label label-number [detail] | statistics asic-number | usage
asic-number [summary] | vlan vlan-id} [ | {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>interface interface-id</b>	指定されたインターフェイスについて、インターフェイス単位の ACL マネージャ情報を表示します。このインターフェイスは物理インターフェイスまたは VLAN (仮想 LAN) になることができます。
<b>label label-number [detail]</b>	ラベル単位の ACL マネージャ情報を表示します。指定できる <i>label-number</i> 範囲は 0 ~ 255 です。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>detail</b> — (任意) ACL マネージャ ラベル情報を表示します。</li> </ul>
<b>statistics asic-number</b>	ASIC (特定用途向け集積回路) 単位の ACL マネージャ情報を表示します。指定できる <i>asic-number</i> は、0 または 1 のいずれかのポート ASIC 番号です。
<b>usage asic-number [summary]</b>	ASIC 単位の ACL 使用状況情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>summary</b> — (任意) 使用状況情報の概要を表示します。</li> </ul>
<b>vlan vlan-id</b>	VLAN 単位の ACL マネージャ情報を表示します。指定できる <i>vlan-id</i> 範囲は 1 ~ 4094 です。
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<b>expression</b>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform backup interface

Flex Link 設定で使用されるプラットフォーム依存型バックアップ情報を表示するには、**show platform backup interface** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform backup interface [interface-id | dummyQ] [| {begin | exclude | include} expression]
```

シンタックスの説明	
<i>interface-id</i>	(任意) すべてのインターフェイスまたは指定されたインターフェイスに対するバックアップ情報を表示します。このインターフェイスには物理インターフェイスまたはポート チャネルを指定できます。
<b>dummyQ</b>	(任意) ダミー キュー情報を表示します。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform configuration

プラットフォーム依存型コンフィギュレーション マネージャ 関連情報を表示するには、**show platform configuration** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform configuration {config-output | default | running | startup} [| {begin | exclude |
include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>config-output</b>	最後の自動設定アプリケーションの出力を表示します。
<b>default</b>	システムがデフォルト設定で実行しているかどうかを表示します。
<b>running</b>	ローカル スイッチのバックアップ実行コンフィギュレーションのスナップショットを表示します。
<b>startup</b>	ローカル スイッチのバックアップ スタートアップ コンフィギュレーションのスナップショットを表示します。
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<b>expression</b>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform dl

動的にロードされるモジュール情報を表示するには、**show platform dl** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform dl [detail] [| {begin | exclude | include} expression]
```

シンタックスの説明	detail	(任意) 動的にロードされるモジュール情報の詳細を表示します。
	begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
	exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
	include	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
	<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform etherchannel

プラットフォーム依存型 EtherChannel 情報を表示するには、**show platform etherchannel** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform etherchannel {flags | time-stamps} [| {begin | exclude | include} expression]
```

シンタックスの説明		
<b>flags</b>	EtherChannel	ポート フラグを表示します。
<b>time-stamps</b>	EtherChannel	タイム スタンプを表示します。
<b>begin</b>	(任意)	<i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意)	<i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意)	<i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>		参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

**コマンド モード** 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform forward

ハードウェアが指定されたパラメータと一致するフレームを転送する方法を指定するには、インターフェイスの **show platform forward** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform forward interface-id [vlan vlan-id] src-mac dst-mac [l3protocol-id] [ipv6 | sap | snap]
[cos cos] [ip src-ip dst-ip [frag field] [dscp dscp] {l4protocol-id | icmp icmp-type icmp-code | igmp
igmp-version igmp-type | sctp src-port dst-port | tcp src-port dst-port flags | udp src-port dst-port}]
[ | {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<i>interface-id</i>	パケットがスイッチに着信するポートとなる入力物理インターフェイス (タイプ、スタック メンバー、モジュール、ポート番号を含む)
<i>vlan vlan-id</i>	(任意) 入力 VLAN (仮想 LAN) ID。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。ID を指定せず、入力インターフェイスがルーテッドポートでない場合、デフォルト値は 1 です。
<i>src-mac</i>	48 ビット送信元 MAC (メディア アクセス制御) アドレス
<i>dst-mac</i>	48 ビット宛先 MAC アドレス
<i>l3protocol-id</i>	(任意) パケットで使用するレイヤ 3 プロトコル。番号は 0 ~ 65535 です。
<i>ipv6</i>	(任意) IPv6 フレーム。このキーワードは、スイッチまたはスイッチ スタックで拡張 IP サービス フィーチャセットが稼働している場合に限り使用できます。
<i>sap</i>	(任意) Service Access Point (SAP; サービス アクセス ポイント) カプセル化タイプ
<i>snap</i>	(任意) Subnetwork Access Protocol (SNAP) カプセル化タイプ
<i>cos cos</i>	(任意) フレームの Class of Service (CoS; サービス クラス) 値。指定できる範囲は 0 ~ 7 です。
<i>ip src-ip dst-ip</i>	(任意、IP パケットの場合は必要) ドット付き 10 進表記の送信元および宛先 IP アドレス
<i>frag field</i>	(任意) 断片化した IP パケットの IP フラグメント フィールド。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
<i>dscp dscp</i>	(任意) IP ヘッダーの Differentiated Service Code Point (DSCP) フィールド。指定できる範囲は 0 ~ 63 です。
<i>l4protocol-id</i>	IP ヘッダーのレイヤ 4 プロトコル フィールドの数値。指定できる範囲は 0 ~ 255 です。たとえば、47 は Generic Routing Encapsulation (GRE; 総称ルーティング カプセル化) で、89 は Open Shortest Path First (OSPF) を示します。プロトコルが TCP、User Datagram Protocol (UDP)、Internet Control Message Protocol (ICMP; インターネット制御メッセージプロトコル)、または Internet Group Management Protocol (IGMP; インターネットグループ管理プロトコル) である場合、数値の代わりに適切なキーワードを使用する必要があります。
<i>icmp icmp-type icmp-code</i>	ICMP パラメータ。icmp-type および icmp-code に指定できる範囲は 0 ~ 255 です。
<i>igmp igmp-version igmp-type</i>	IGMP パラメータ。igmp-version に指定できる範囲は 1 ~ 15 で、igmp-type に指定できる範囲は 0 ~ 15 です。
<i>sctp src-port dst-port</i>	Stream Control Transmission Protocol (SCTP) パラメータ。SCTP 送信元および宛先ポートに指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
<i>tcp src-port dst-port flags</i>	TCP パラメータ。ヘッダーの TCP フラグ バイトの TCP 送信元ポート、宛先ポート、および数値。src-port および dst-port に指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。フラグ範囲は 0 ~ 1024 です。

## ■ show platform forward

<b>udp</b> <i>src-port dst-port</i>	UDP パラメータ。 <i>src-port</i> および <i>dst-port</i> に指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

## 例

**show platform forward** コマンドの出力表示およびその意味の例については、このリリースに対応するソフトウェア コンフィギュレーション ガイドの「Troubleshooting」を参照してください。



# show platform frontend-controller

フロントエンド コントローラ マネージャとその従属アプリケーションのカウンタおよびステータス情報、およびフロントエンド コントローラのハードウェアおよびソフトウェア情報を表示するには、**show platform frontend-controller** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform frontend-controller {buffer | generic | manager number | subordinate number | version number} [| {begin | exclude | include} expression]
```

シンタックスの説明		
<b>buffer</b>		マネージャから従属アプリケーションに送信された最後の 1024 バイトを表示します。または、従属アプリケーションからマネージャに送信された最後の 1024 バイトを表示します。
<b>generic</b>		マネージャまたは従属アプリケーションに明確に適用されない一般的なカウンタを表示します。
<b>manager number</b>	<i>number</i>	によって指定されたマネージャおよび従属アプリケーションのカウンタを表示します。 <i>number</i> の範囲については、「使用上のガイドライン」を参照してください。
<b>subordinate number</b>	<i>number</i>	によって指定された従属アプリケーションの従属ステータスおよびカウンタを表示します。 <i>number</i> の範囲については、「使用上のガイドライン」を参照してください。
<b>version number</b>	<i>number</i>	によって指定された従属ステータスのハードウェアおよびソフトウェア バージョン情報を表示します。 <i>number</i> の範囲については、「使用上のガイドライン」を参照してください。
<b>begin</b>		(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>		(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>		(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>		参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

**コマンド モード** 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** Catalyst 3750-E および 3560-E スイッチでは、従属アプリケーション番号の範囲は 0 ～ 2 です。

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform ip igmp snooping

プラットフォーム依存型 Internet Group Management Protocol (IGMP; インターネット グループ管理 プロトコル) スヌーピング情報を表示するには、**show platform ip igmp snooping** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ip igmp snooping {all | control [di] | counters | flood [vlan vlan-id] | group ip-address
| hardware | retry [count | local [count] | remote [count]]} [| {begin | exclude | include}
expression]
```

## シンタックスの説明

<b>all</b>	IGMP スヌーピング プラットフォーム IP マルチキャスト情報を表示します。
<b>control [di]</b>	IGMP スヌーピング制御エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>di</b> — (任意) IGMP スヌーピング制御宛先インデックス エントリを表示します。</li> </ul>
<b>counters</b>	IGMP スヌーピング カウンタを表示します。
<b>flood [vlan vlan-id]</b>	IGMP スヌーピング フラッディング情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>vlan vlan-id</b> — (任意) 指定された VLAN (仮想 LAN) のフラッディング情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。</li> </ul>
<b>group ip-address</b>	IGMP スヌーピング マルチキャスト グループ情報を表示します。ここでは、 <i>ip-address</i> がグループの IP アドレスです。
<b>hardware</b>	ハードウェアにロードされる IGMP スヌーピング情報を表示します。
<b>retry [count   local [count]   remote [count]]</b>	IGMP スヌーピング再試行情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>count</b> — (任意) 再試行カウントのみを表示します。</li> <li><b>local</b> — (任意) ローカル再試行エントリを表示します。</li> </ul>
<b>remote [count]</b>	リモートエントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>count</b> — (任意) リモート カウントのみを表示します。</li> </ul>
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<b><i>expression</i></b>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform ip multicast

プラットフォームに依存する IP マルチキャスト テーブルおよび他の情報を表示するには、**show platform ip multicast** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ip multicast {acl-full-info | counters | groups | hardware [detail] | interfaces | locks |
mdfs-routes | mroute-retry | retry | trace} [| {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>acl-full-info</b>	IP マルチキャスト ルーティング Access Control List (ACL; アクセスコントロールリスト) 情報、特にハードウェアで出力のルータ ACL が適用されない発信 VLAN の数を表示します。
<b>counters</b>	IP マルチキャスト カウンタと統計を表示します。
<b>groups</b>	グループごとの IP マルチキャスト ルータを表示します。
<b>hardware [detail]</b>	ハードウェアにロードされた IP マルチキャスト ルートを表示します。任意の <b>detail</b> キーワードは、宛先インデックスおよびルートインデックスのポートメンバーを表示するために使用します。
<b>interfaces</b>	IP マルチキャスト インターフェイスを表示します。
<b>locks</b>	IP マルチキャスト 宛先索引ロックを表示します。
<b>mdfs-routes</b>	Multicast Distributed Fast Switching (MDFS) IP マルチキャスト ルートを表示します。
<b>mroute-retry</b>	IP マルチキャスト ルート リトライ キューを表示します。
<b>retry</b>	リトライ キューの IP マルチキャスト ルートを表示します。
<b>trace</b>	IP マルチキャスト トレース バッファを表示します。
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<b>expression</b>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform ip unicast

プラットフォームに依存する IP ユニキャスト ルーティング情報を表示するには、**show platform ip unicast** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ip unicast {adjacency | cef-idb | counts | dhcp | failed {adjacency | arp [A.B.C.D] |
route} | loadbalance | mpaths | proxy | route | rpf {A.B.C.D {A.B.C.D} | stats interface-id}
standby | statistics | table | trace} [| {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>adjacency</b>	プラットフォーム隣接データベースを表示します。
<b>cef-idb</b>	Cisco Express Forwarding (CEF) インターフェイス記述子ブロックに対応するプラットフォーム情報を表示します。
<b>counts</b>	レイヤ 3 ユニキャスト データベースの現在のカウントを表示します。
<b>dhcp</b>	DHCP システム ダイナミック アドレスを表示します。
<b>failed {adjacency   arp [A.B.C.D]   route}</b>	ハードウェア リソース障害を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>adjacency</b> — ハードウェアでのプログラミングに失敗した隣接エントリを表示します。</li> <li>• <b>arp</b> — 障害および再試行による Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) 削除を表示します。</li> <li>• <b>A.B.C.D</b> — (任意) 表示する ARP エントリのプレフィクス</li> <li>• <b>route</b> — ハードウェアでのプログラミングに失敗したルート エントリを表示します。</li> </ul>
<b>loadbalance</b>	プラットフォーム ロードバランス データベースを表示します。
<b>mpaths</b>	レイヤ 3 ユニキャスト ルーティング マルチパス隣接データベースを表示します。
<b>proxy</b>	プラットフォーム プロキシ ARP データベースを表示します。
<b>route</b>	プラットフォーム ルート データベースを表示します。
<b>rpf {A.B.C.D {A.B.C.D}   stats interface-id}</b>	ユニキャスト Reverse Path Forwarding (ユニキャスト RPF) プラットフォーム情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>A.B.C.D {A.B.C.D}</b> — 表示する RPF エントリのプレフィクスおよびプレフィクスマスク</li> <li>• <b>stats</b> — 指定インターフェイスのユニキャスト RPF 統計情報を表示します。</li> </ul>
<b>standby</b>	プラットフォーム スタンバイ情報を表示します。
<b>statistics</b>	レイヤ 3 ユニキャスト ルーティング累積統計を表示します。
<b>table</b>	プラットフォーム IP version 4 (IPv4) 情報を表示します。
<b>trace</b>	プラットフォーム イベント トレース ログを表示します。
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<b>expression</b>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。



(注)

**proxy** および **table** キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtringには表示されますが、サポートされていません。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

## show platform ip unicast vrf compaction

圧縮要求キューおよび圧縮ステータスを表示するには、**show platform ip unicast vrf compaction** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ip unicast vrf compaction [ | {begin | exclude | include} expression]
```

シンタックスの説明	
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

# show platform ip unicast vrf tcam-label

PBR および VRF-Lite ラベルと、PBR で使用されているラベルの数を表示するには、**show platform ip unicast vrf tcam-label** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ip unicast vrf tcam-label [ | {begin | exclude | include} expression ]
```

## シンタックスの説明

<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

## show platform ip wccp

プラットフォームに依存する Web Cache Communication Protocol (WCCP) の情報を表示するには、**show platform ip wccp** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ip wccp {detail | label} [| {begin | exclude | include} expression]
```

このコマンドは、スイッチが IP サービス フィーチャ セットを実行している場合のみ使用可能です。

### シンタックスの説明

<b>detail</b>	プラットフォーム WCCP の詳細を表示します。
<b>label</b>	プラットフォーム WCCP のラベルを表示します。
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

### コマンドモード

特権 EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(37)SE	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

## show platform ipc trace

プラットフォーム依存 Interprocess Communication (IPC; プロセス間通信) プロトコル追跡ログ情報を表示するには、**show platform ipc trace** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ipc trace [| {begin | exclude | include} expression]
```



(注)

このコマンドは、Catalyst 3750-E スイッチのみでサポートされています。

### シンタックスの説明

<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

### コマンドモード

特権 EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカルサポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカルサポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。



# show platform ipv6 unicast

プラットフォームに依存する IPv6 ユニキャストルーティング情報を表示するには、**show platform ipv6 unicast** 特権 EXEC コマンドを使用します。このコマンドは、スイッチまたはスイッチ スタックで拡張 IP サービス フィーチャ セットが稼働している場合に限り使用できます。

```
show platform ipv6 unicast {adjacency [ipv6-prefix] | backwalk {adjacency | loadbalance} | compress
  ipv6-prefix/prefix length | interface | loadbalance | mpath | retry {adjacency | route} | route
  [ipv6-prefix/prefix length | tcam] [detail] | statistics | table [detail] | trace} [| {begin | exclude |
  include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>adjacency</b>	スイッチまたは指定された IPv6 ネットワークの IPv6 隣接情報を表示します。
<i>ipv6-prefix</i>	(任意) 表示する IPv6 ネットワーク。この引数には RFC2373 に記載のように、コロンで区切られた 16 ビット値を使用した 16 進数形式でアドレスを指定する必要があります。
<b>backwalk {adjacency   loadbalance}</b>	IPv6 バックウォーク情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>adjacency</b> — 隣接バックウォーク情報を表示します。</li> <li><b>loadbalance</b> — バックウォーク ロードバランス情報を表示します。</li> </ul>
<b>compress</b> <i>ipv6-prefix/prefix length</i>	IPv6 プレフィクス圧縮情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li><i>ipv6-prefix</i> — IPv6 ネットワークです。</li> <li><i>/prefix length</i> — IPv6 ネットワーク プレフィクスの長さです。アドレスの上位何ビットがプレフィクス (アドレスのネットワーク部) であるかを示す、0 ~ 128 の 10 進値。スラッシュ記号を 10 進値の前に付ける必要があります。</li> </ul>
<b>interface</b>	IPv6 インターフェイス情報を表示します。
<b>loadbalance</b>	IPv6 ロードバランス情報を表示します。
<b>mpath</b>	IPv6 マルチパス情報を表示します。
<b>retry {adjacency   route}</b>	IPv6 リトライ情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>adjacency</b> — IPv6 隣接リトライ情報を表示します。</li> <li><b>route</b> — IPv6 ルートリトライ情報を表示します。</li> </ul>
<b>route</b>	IPv6 ルート情報を表示します。
<b>tcam</b>	(任意) IPv6 ハードウェア ルート テーブル情報を表示します。
<b>detail</b>	(任意) IPv6 ルート情報の詳細を表示します。
<b>statistics</b>	IPv6 累積統計を表示します。
<b>table</b>	IPv6 ユニキャスト テーブル情報を表示します。
<b>trace</b>	IPv6 ユニキャスト トレースを表示します。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン**

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

## show platform layer4op

プラットフォーム依存型レイヤ 4 オペレータ情報を表示するには、**show platform layer4op** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform layer4op {acl | pacl [port-asic] | qos [port-asic]} {and-or | map | or-and | vcu}
[ | {begin | exclude | include} expression]
```

**シンタックスの説明**

<b>acl</b>	Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) レイヤ 4 オペレータ情報を表示します。
<b>pacl</b> [port-asic]	ポート ACL レイヤ 4 オペレータ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>port-asic — (任意) ポート ASIC (特定用途向け集積回路) 番号を表示します。</li> </ul>
<b>qos</b> [port-asic]	QoS (Quality of Service) レイヤ 4 オペレータ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>port-asic — (任意) QoS ポート ASIC 番号を表示します。</li> </ul>
<b>and-or</b>	AND-OR レジスタ情報を表示します。
<b>map</b>	選択マップ情報を表示します。
<b>or-and</b>	OR-AND レジスタ情報を表示します。
<b>vcu</b>	Value Compare Unit (VCU) レジスタ情報を表示します。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

**コマンドモード**

特権 EXEC

**コマンド履歴**

リリース	変更内容
12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン**

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

## show platform mac-address-table

プラットフォーム依存型 MAC（メディア アクセス制御）アドレス テーブル情報を表示するには、**show platform mac-address-table** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform mac-address-table [aging-array | hash-table | mac-address mac-address] [vlan
  vlan-id] [| {begin | exclude | include} expression]
```

### シンタックスの説明

<b>aging-array</b>	(任意) MAC アドレス テーブル エージング配列を表示します。
<b>hash-table</b>	(任意) MAC アドレス テーブルのハッシュ テーブルを表示します。
<b>mac-address <i>mac-address</i></b>	(任意) MAC アドレス テーブルの MAC アドレス情報を表示します。 ここでは、 <i>mac-address</i> は 48 ビット ハードウェア アドレスです。
<b>vlan <i>vlan-id</i></b>	(任意) 指定された VLAN（仮想 LAN）の情報を表示します。指定できる範囲は、1 ～ 4094 です。
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<b><i>expression</i></b>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

### コマンドモード

特権 EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform messaging

プラットフォーム依存型アプリケーションおよびパフォーマンス メッセージ情報を表示するには、**show platform messaging** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform messaging {application [incoming | outgoing | summary] | hipperf [class-number]} [|
  {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>application</b> [incoming   outgoing   summary]	アプリケーション メッセージ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>incoming</b> — (任意) 着信アプリケーション メッセージング要求に関する情報のみを表示します。</li> <li><b>outgoing</b> — (任意) 着信アプリケーション メッセージング要求に関する情報のみを表示します。</li> <li><b>summary</b> — (任意) アプリケーション メッセージング要求すべてに関するサマリー情報を表示します。</li> </ul>
<b>hipperf</b> [class-number]	送信ハイパフォーマンス メッセージ情報を表示します。このクラス番号のハイパフォーマンス メッセージ情報を表示するには、 <i>class-number</i> オプションを指定します。指定できる範囲は 0 ~ 36 です。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform monitor

プラットフォーム依存型 Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチド ポート アナライザ) 情報を表示するには、**show platform monitor** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform monitor [session session-number] [| {begin | exclude | include} expression]
```

シンタックスの説明	
<b>session</b> <i>session-number</i>	(任意) 指定された SPAN セッションの SPAN 情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 66 です。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

**コマンドモード** 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

## show platform mvr table

プラットフォーム依存型 Multicast VLAN Registration (MVR) Multi-Expansion Descriptor (MED) グループ マッピング テーブルを表示するには、**show platform mvr table** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform mvr table [ | {begin | exclude | include} expression]
```

### シンタックスの説明

<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

### コマンドモード

特権 EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform pm

プラットフォーム依存型ポート マネージャ情報を表示するには、**show platform pm** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform pm {counters | group-masks | idbs {active-idbs | deleted-idbs} | if-numbers |
link-status | platform-block | port-info interface-id | stack-view | vlan {info | line-state}
[ | {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>counters</b>	モジュール カウンタ情報を表示します。
<b>group-masks</b>	EtherChannel グループ マスク情報を表示します。
<b>idbs {active-idbs   deleted-idbs}</b>	Interface Data Block (IDB) 情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>active-idbs</b> — アクティブな IDB 情報を表示します。</li> <li><b>deleted-idbs</b> — 削除およびリークされた IDB 情報を表示します。</li> </ul>
<b>if-numbers</b>	インターフェイス番号情報を表示します。
<b>link-status</b>	ローカル ポート リンク ステータス情報を表示します。
<b>platform-block</b>	プラットフォーム ポート ブロック情報を表示します。
<b>port-info interface-id</b>	指定されたインターフェイスのポート管理および動作フィールドを表示します。
<b>stack-view</b>	スタックのステータス情報を表示します。  このキーワードは、Catalyst 3750-E スイッチのみで使用可能です。
<b>vlan {info   line-state}</b>	プラットフォーム VLAN (仮想 LAN) 情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>info</b> — アクティブ VLAN の情報を表示します。</li> <li><b>line-state</b> — ラインステート情報を表示します。</li> </ul>
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<b>expression</b>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform port-asic

プラットフォーム依存型ポート ASIC (特定用途向け集積回路) レジスタ情報を表示するには、**show platform port-asic** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform port-asic {cpu-queue-map-table [asic number | port number [asic number]] |
  dest-map index number |
  etherchannel-info [asic number | port number [asic number]] |
  exception [asic number | port number [asic number]] |
  global-status [asic number | port number [asic number]] |
  learning [asic number | port number [asic number]] |
  mac-info [asic number | port number [asic number]] |
  mvid [asic number] |
  packet-info-ram [asic number | index number [asic number]] |
  port-info [asic number | port number [asic number]] |
  prog-parser [asic number | port number [asic number]] |
  receive {buffer-queue | port-fifo | supervisor-sram} [asic number | port number [asic number]] |
  span [vlan-id [asic number]] | [asic number]
  stack {control | dest-map | learning | messages | mvid | prog-parser | span | stats [asic number |
  port number [asic number]]
  stats {drop | enqueue | miscellaneous | supervisor} [asic number | port number [asic number]] |
  transmit {port-fifo | queue | supervisor-sram} [asic number | port number [asic number]]
  vct [asic number | port number [asic number]]
  version}
[ | {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>cpu-queue-map-table</b> [asic number   port number [asic number]]	CPU キュー マップ テーブル エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。</li> </ul>
<b>dest-map index number</b>	指定されたインデックスの宛先マップ情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
<b>etherchannel-info</b> [asic number   port number [asic number]]	EtherChannel 情報レジスタの内容を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>exception</b> [asic number   port number [asic number]]	例外インデックス レジスタ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>



<b>global-status</b> [ <i>asic number</i>   <b>port number</b> [ <i>asic number</i> ]]	グローバルおよび中断ステータスを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>learning</b> [ <i>asic number</i>   <b>port number</b> [ <i>asic number</i> ]]	ラーニング キャッシュのエントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>mac-info</b> [ <i>asic number</i>   <b>port number</b> [ <i>asic number</i> ]]	MAC (メディア アクセス制御) 情報レジスタの内容を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>mvid</b> [ <i>asic number</i> ]	マッピングされた VLAN (仮想 LAN) ID テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> </ul>
<b>packet-info-ram</b> [ <i>asic number</i>   <b>index number</b> [ <i>asic number</i> ]]	パケット情報 RAM を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>index number</b> — (任意) 指定されたパケット RAM インデックス番号および ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 63 です。</li> </ul>
<b>port-info</b> [ <i>asic number</i>   <b>port number</b> [ <i>asic number</i> ]]	ポート情報レジスタ値を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>prog-parser</b> [ <i>asic number</i>   <b>port number</b> [ <i>asic number</i> ]]	プログラム可能なパーサー テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>

<b>receive</b> { <b>buffer-queue</b>   <b>port-fifo</b>   <b>supervisor-sram</b> } [ <b>asic number</b>   <b>port number</b> [ <b>asic number</b> ]]	<p>受信情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>buffer-queue</b> — バッファ キュー情報を表示します。</li> <li>• <b>port-fifo</b> — ポート FIFO 情報を表示します。</li> <li>• <b>supervisor-sram</b> — スーパーバイザ SRAM 情報を表示します。</li> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>span</b> [ <b>vlan-id</b>   <b>asic number</b> ]	<p>Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチド ポート アナライザ) 関連情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>vlan-id</b> — (任意) 指定された VLAN の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1023 です。</li> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> </ul>
<b>stack</b> { <b>control</b>   <b>dest-map</b>   <b>learning</b>   <b>messages</b>   <b>mvid</b>   <b>prog-parser</b>   <b>span</b>   <b>stats</b> [ <b>asic number</b>   <b>port number</b> [ <b>asic number</b> ]]}	<p>スタック関連情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>control</b> — スタック制御ステータス レジスタ情報を表示します。</li> <li>• <b>dest-map</b> — 宛先マップ情報を表示します。</li> <li>• <b>learning</b> — 学習キャッシュ内のエントリを表示します。</li> <li>• <b>messages</b> — スタックメッセージ レジスタ情報を表示します。</li> <li>• <b>mvid</b> — マッピングされた VLAN ID テーブルのエントリを表示します。</li> <li>• <b>prog-parser</b> — プログラマブル パーサー テーブルを表示します。</li> <li>• <b>span</b> — SPAN 関連情報を表示します。</li> <li>• <b>stats</b> — ポート ASIC の未処理の統計を表示します。</li> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul> <p>これらのキーワードは、Catalyst 3750-E スイッチでのみ使用可能です。</p>

<b>stats</b> { <b>drop</b>   <b>enqueue</b>   <b>miscellaneous</b>   <b>supervisor</b> } [ <b>asic number</b>   <b>port number</b> [ <b>asic number</b> ]]	ポート ASIC の生の統計情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>drop</b> — 削除統計情報を表示します。</li> <li>• <b>enqueue</b> — エンキュー統計情報を表示します。</li> <li>• <b>miscellaneous</b> — その他の統計情報を表示します。</li> <li>• <b>supervisor</b> — スーパーバイザ統計情報を表示します。</li> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>transmit</b> { <b>port-fifo</b>   <b>queue</b>   <b>supervisor-sram</b> } [ <b>asic number</b>   <b>port number</b> [ <b>asic number</b> ]]	送信情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>port-fifo</b> — ポート FIFO 情報レジスタの内容を表示します。</li> <li>• <b>queue</b> — キュー情報レジスタの内容を表示します。</li> <li>• <b>supervisor-sram</b> — スーパーバイザ SRAM 情報を表示します。</li> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>vct</b> [ <b>asic number</b>   <b>port number</b> [ <b>asic number</b> ]]	指定された ASIC、または指定されたポートおよび ASIC の VLAN 圧縮テーブル エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>version</b>	ポート ASIC のバージョンおよびデバイス タイプ情報を表示します。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

**コマンドモード**

特権 EXEC

**コマンド履歴**

リリース	変更内容
12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン**

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート 担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート 担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform port-security

プラットフォーム依存型ポートセキュリティ情報を表示するには、**show platform port-security** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform port-security [| {begin | exclude | include} expression]
```

シンタックスの説明	
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

## show platform qos

プラットフォーム依存型 QoS (Quality of Service) 情報を表示するには、**show platform qos** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform qos {label asic number | policer {parameters asic number |
port alloc number asic number}} [| {begin | exclude | include} expression]
```

### シンタックスの説明

<b>label asic number</b>	指定された ASIC (特定用途向け集積回路) の QoS ラベル マップを表示します。  (任意) <b>asic number</b> に、0 ~ 1 の範囲で指定します。
<b>policer {parameters asic number   port alloc number asic number}</b>	ポリサー情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>parameters asic number</b> — 指定された ASIC のパラメータ情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li><b>port alloc number asic number</b> — 指定されたポートおよび ASIC のポート割り当て情報を表示します。ポート割り当て範囲は 0 ~ 25 です。ASIC 範囲は 0 ~ 1 です。</li> </ul>
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

### コマンドモード

特権 EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform resource-manager

プラットフォーム依存型リソース マネージャ情報を表示するには、**show platform resource-manager** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform resource-manager {dm [index number] | erd [index number] |
mad [index number] | med [index number] | mod | msm {hash-table [vlan vlan-id] | mac-address
mac-address [vlan vlan-id]} | sd [index number] |
vld [index number]} [| {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>dm [index number]</b>	宛先マップを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> — (任意) 指定されたインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。</li> </ul>
<b>erd [index number]</b>	指定されたインデックスの等価コスト ルート記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> — (任意) 指定されたインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。</li> </ul>
<b>mad [index number]</b>	指定されたインデックスの MAC (メディア アクセス制御) アドレス記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> — (任意) 指定されたインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。</li> </ul>
<b>med [index number]</b>	指定されたインデックスのマルチ拡張記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> — (任意) 指定されたインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。</li> </ul>
<b>mod</b>	リソースマネージャ モジュール情報を表示します。
<b>msm {hash-table [vlan vlan-id]   mac-address mac-address [vlan vlan-id]}</b>	MAC アドレス記述子テーブルおよびステーション記述子テーブル情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>hash-table [vlan vlan-id]</b> — すべての VLAN (仮想 LAN) または指定された VLAN のハッシュ テーブルを表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。</li> <li><b>mac-address mac-address [vlan vlan-id]</b> — すべての VLAN または指定された VLAN に対する 48 ビット ハードウェア アドレスで表される指定された MAC アドレスの MAC アドレス記述子テーブルを表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。</li> </ul>
<b>sd [index number]</b>	指定されたインデックスのステーション記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> — (任意) 指定されたインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。</li> </ul>
<b>vld [index number]</b>	指定されたインデックスの VLAN リスト記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> — (任意) 指定されたインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。</li> </ul>
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<b>expression</b>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

## show platform snmp counters

プラットフォーム依存型 SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) カウンタ情報を表示するには、**show platform snmp counters** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform snmp counters [| {begin | exclude | include} expression]
```

シンタックスの説明	
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

## show platform spanning-tree

プラットフォーム依存型スパンニング ツリー情報を表示するには、**show platform spanning-tree** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform spanning-tree synchronization [detail | vlan vlan-id] [| {begin | exclude | include}
expression]
```

### シンタックスの説明

<b>synchronization</b> [ <b>detail</b>   <b>vlan</b> <i>vlan-id</i> ]	スパンニング ツリー ステート同期情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>detail</b> — (任意) スパンニング ツリー情報の詳細を表示します。</li> <li><b>vlan</b> <i>vlan-id</i> — (任意) 指定された VLAN (仮想 LAN) の VLAN スイッチ スパンニング ツリー情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。</li> </ul>
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

### コマンドモード

特権 EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。



## show platform stp-instance

プラットフォーム依存型スパニング ツリー インスタンス情報を表示するには、**show platform stp-instance** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform stp-instance vlan-id [ | {begin | exclude | include} expression ]
```

シンタックスの説明	<i>vlan-id</i>	指定された VLAN (仮想 LAN) のスパニング ツリー インスタンス情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。
	<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
	<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
	<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
	<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform stack-manager

プラットフォーム依存スイッチ スタック情報を表示するには、**show platform stack-manager** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform stack-manager {all | counters | trace [sdp [reverse] | state [reverse]]}
[ | {begin | exclude | include} expression]
```



(注)

このコマンドは、Catalyst 3750-E スイッチのみでサポートされています。

## シンタックスの説明

<b>all</b>	スイッチ スタック全体の情報をすべて表示します。
<b>counters</b>	スタック マネージャ カウンタを表示します。
<b>trace [sdp [reverse]]</b>	追跡情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>sdp</b> — (任意) Stack Discovery Protocol (SDP) 情報を表示します。</li> <li>• <b>reverse</b> — (任意) 追跡情報を逆順に (最新の情報から順にさかのぼって) 表示します。</li> </ul>
<b>trace [state [reverse]]</b>	追跡情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>state</b> — (任意) スタック ステート マシン情報を表示します。</li> <li>• <b>reverse</b> — (任意) 追跡情報を逆順に (最新の情報から順にさかのぼって) 表示します。</li> </ul>
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<b><i>expression</i></b>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンド モード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

スイッチ スタックの要約情報に表示されるステートは次のとおりです。

- **Waiting** — スイッチがブートアップし、スタック内にある他のスイッチからの通信を待っている段階。スイッチはまだスタック マスターであるかどうかを判別していません。  
スタック マスター選出に参加していないスタック メンバーは、スタック マスターが選出され準備ができるまで **Waiting** ステートのままです。
- **Initializing** — スタック マスターかどうかをスイッチが判別した段階。スイッチがスタック マスターでない場合、このスイッチはスタック マスターからシステム レベルおよびインターフェイス レベルのコンフィギュレーションを受信してロードしています。

- **Ready** — スタック メンバーがシステム レベルおよびインターフェイス レベルのコンフィギュレーションのロードを完了し、トラフィックを転送する準備ができています。
- **Master Re-Init** — スタック マスター再選出で、今までと異なるスタック メンバーがスタック マスターに選出された直後の段階。新しいスタック マスターがそのコンフィギュレーションを再初期化しています。このステータスは、新しいスタック マスターにだけ適用されます。
- **Ver Mismatch** — **Version-Mismatch (VM)** モードのスイッチの段階。VM モードは、スイッチスタックに加入しているスイッチに、スタック マスターとは異なったスタック プロトコルマイナー番号がある場合です。

スタック メンバー（スタック マスターを含む）の代表的なステータス遷移は、**Waiting -> Initializing -> Ready** です。

スタック マスター選出後のスタック マスターになるスタック メンバーの代表的なステータス遷移は、**Ready -> Master Re-Init -> Ready** です。

VM モードのスタック メンバーの代表的なステータス遷移は、**Waiting -> Ver Mismatch** です。

# show platform tb

スタック マスターを新しいスタック マスターに変更している間に、プラットフォーム依存の信頼性のある境界情報を表示するには、**show platform tb** 特権 EXEC コマンドを使用します。

**show platform tb** [ [ {begin | exclude | include} *expression* ]



(注)

このコマンドは、Catalyst 3750-E スイッチのみでサポートされています。

## シンタックスの説明

<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンド モード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

## 例

次に **show platform tb** コマンドの出力例を示します。

```
Switch# show platform tb
Print TB sub-block information
(Fa1/0/2) device: (Cisco phone)
/* current interfaces with TB enabled, and the trust device type */

Current master switch: (Yes)
/* Is this switch the current master switch? */

New elected master      : (No)
/* Is the master switch-over occurred and this is the new master switch? */

Master ready           : (No)
/* Is the Master switch in ready state? */

HULC TB process on    : (No)
/* Is the TB platform process currently running? */

CDP stable timer ON   : (No) (360 secs)
/* Is the CDP stable timer running? After the CDP stable timer expired, CDP neighbors
of all the TB enabled interfaces will be verified to make sure the replacement of IP
phone and PC did not happen during the master switch-over. */

Print TB residue trust ports information
/* The interfaces with TB enabled right before master switch-over. */

Print port CDP neighbor information
/* Is the CDP message still received after switch-over? */

HULC TB is not detecting CDP events
/* Currently, this switch is not detecting any CDP event. */
```

# show platform tcam

プラットフォーム依存型ハードウェア メモリ情報を表示するには、**show platform tcam** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform tcam {handle number | log-results | table {acl | all | equal-cost-route | ipv6 {acl | qos |
secondary} local | mac-address | multicast-expansion | qos | secondary | station | vlan-list} |
usage} [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid | num number
[detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude
| include} expression]
```

```
show platform tcam table acl [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid
| num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ |
{begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table all [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid
| num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ |
{begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table equal-cost-route [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail
[invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail
[invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table ipv6 {acl | qos | secondary} [asic number [detail [invalid]] | [index number
[detail [invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number
[detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table local [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] |
invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] |
invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table mac-address [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail
[invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail
[invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table multicast-expansion [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail
[invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail
[invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table qos [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid
| num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ |
{begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table secondary [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]]
| invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] |
invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table station [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] |
invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] |
invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table vlan-list [[asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] |
invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] |
invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>handle number</b>	ハードウェア メモリ処理を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 4294967295 です。
<b>log-results</b>	ハードウェア メモリ ログ結果を表示します。
<b>table {acl   all   equal-cost-route   ipv6 {acl   qos   secondary} local   mac-address   multicast-expansion   qos   secondary   station   vlan-list}</b>	<p>ルックアップおよび転送テーブル情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>acl</b> — Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) テーブルを表示します。</li> <li>• <b>all</b> — すべてのハードウェア メモリ テーブルを表示します。</li> <li>• <b>equal-cost-route</b> — 等価コストルート テーブルを表示します。</li> <li>• <b>ipv6</b> — IPv6 情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>— <b>acl</b> — IPv6 ACL テーブル情報を表示します。</li> <li>— <b>qos</b> — IPv6 QoS (Quality of Service) テーブル情報を表示します。</li> <li>— <b>secondary</b> — IPv6 セカンダリ テーブル情報を表示します。</li> </ul> </li> <li>• <b>local</b> — ローカル テーブルを表示します。</li> <li>• <b>mac-address</b> — MAC (メディア アクセス制御) アドレス テーブルを表示します。</li> <li>• <b>multicast-expansion</b> — IPv6 マルチキャスト拡張テーブルを表示します。</li> <li>• <b>qos</b> — QoS テーブルを表示します。</li> <li>• <b>secondary</b> — セカンダリ テーブルを表示します。</li> <li>• <b>station</b> — ステーション テーブルを表示します。</li> <li>• <b>vlan-list</b> — VLAN リスト テーブルを表示します。</li> </ul>
<b>usage</b>	CAM (連想メモリ) および転送テーブル使用方法を表示します。
<b>[[asic number [detail [invalid]]   index number [detail [invalid]]   invalid   num number [detail [invalid]]   [invalid]]   [invalid]]   [num number [detail [invalid]]   invalid]]</b>	<p>情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — 指定された ASIC デバイス ID の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 15 です。</li> <li>• <b>detail [invalid]</b> — (任意) 有効または無効な詳細を表示します。</li> <li>• <b>index number</b> — (任意) 指定されたハードウェア メモリ テーブル インデックスの情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 32768 です。</li> <li>• <b>num number</b> — (任意) 指定されたハードウェア メモリ テーブル番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 32768 です。</li> </ul>
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<b>expression</b>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。



(注)

**usage** キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtringには表示されますが、サポートされていません。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

## show platform vlan

プラットフォーム依存型 VLAN（仮想 LAN）情報を表示するには、**show platform vlan** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform vlan {misc | mvid | prune | refcount | rpc {receive | transmit}} [| {begin | exclude | include} expression]
```

### シンタックスの説明

<b>misc</b>	その他の VLAN モジュール情報を表示します。
<b>mvid</b>	Mapped VLAN ID (MVID) 割り当て情報を表示します。
<b>prune</b>	Catalyst 3750-E スイッチのスタック プルーニング データベースを表示します。Catalyst 3560-E スイッチのプラットフォームに保持されている プルーニング データベースを表示します。
<b>refcount</b>	VLAN ロック モジュールのようなリファレンス カウントを表示します。
<b>rpc {receive   transmit}</b>	Remote Procedure Call (RPC) メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>receive</b> — 受信した情報を表示します。</li> <li><b>transmit</b> — 送信した情報を表示します。</li> </ul>
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<b>expression</b>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

### コマンドモード

特権 EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(35)SE2	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。